



きしやべんちゆう 瀧車辨當

歴史と伝統の「駅弁」の味を守る「松廼家」

「宇都宮は駅弁発祥の地」とは、宮つ子なら皆さんご存知ですよね? 実際には諸説あるようですが「明治18(1885)年に宇都宮駅で販売された弁當が駅弁の始まり」というのは、一般的にはほぼ定説といつていいでしょう。

ほんの5、6年前までは、駅のホームに列車が入ってくる度に、駅弁売りが声を上げ、短い停車時間に名物の弁當を買って逃すまいとして、負けじと声を張り上げ注文するお客様の光景が、多くの駅で見られたものでした。

駅の売店や車内販売で買うようになつて、便利になつたけれども「何となく、旅情が薄れたなあ」と感じている方も少なくないのでは?

けれども、駅弁のおいしさ、ご当地ならではの味は、今でも健在です。消費者



(社)日本鉄道構内営業中央会の「駅弁マーク」

豚釜めし



「旅」といえば「駅弁」「駅弁」といえば「宇都宮」!!

特集2 宮の駅弁

風景になくてもならないものが、駅弁。座席に座り、みんなで楽しく話しながら食べる駅弁は、高級レストランよりもおいしく感じた——そんな思い出をもつ人も多いのではないのでしょうか。今回は、そんな駅弁の今昔を、明治以来120年にわたって駅弁を販売して来た(有)松廼家の齋藤久美子社長にうかがいました。

JR宇都宮駅西口の有限会社松廼家と、齋藤久美子社長



の味覚が豊かになってきた分、食材や調理法へのこだわりはより強くなり、おいしさを増しているのです。

JR駅構内で駅弁を販売する業者の団体「(社)日本鉄道構内営業中央会」では、加盟店の駅弁に「駅弁マーク」をつけています。このマークがあれば安心ということです。現在、栃木県内で駅弁マークをつけた弁當を製造・販売しているのは、(有)松廼家だけです。

齋藤社長は、明治26年創業の同社の6代目。現在の同社の駅弁ラインナップは約



とちぎ霧降高原牛めし

安全だからこそ駅弁をおいしく

松廼家の駅弁で一番人気といえは「とちぎ霧降高原牛めし」(1000円)とちぎ霧降高原牛やかんぴょう、日光ゆばなど、地元食材にこだわった弁當です。まろやかで風味豊かなお肉のおいさを損ねないよう、あつさり味のたれで仕上げたことで、子どもからお年寄りまで幅広い人気があります。

また、ピリ辛味噌で炒め焼きした霧降高原豚と、もち米入りの五目ごはんがマッチした「豚釜めし」(900円)や、宇都宮名物の餃子にカレー塩をあしらった「餃子弁當」(800円)なども人気です。さらに、白木屋が最初に作った弁當を復刻し、現代の人に合うようにアレンジをほどこした「瀧車辨當」(800円)も10年前から販売。当初は企画ものでしたが、人気の高さに常時販売メニューとなりました。

栃木県や宇都宮市にちなんだ弁當としては、他に「ジャズ宮」(1000円)なども好評だそうです。これらの駅弁は駅構内の店舗などで販

宇都宮の駅弁と松廼家120年

売されています。最近では、人気メニューは道の駅などにも登場し、新たな「駅弁」の場を広げているそうです。

「昔のように駅弁売りができないのは、少し残念ですね。また列車も、最近通勤電車のような座席配置が増えて、雰囲気が変わってしまいました。その分「自分で食べる」から「名物駅弁をお土産に」というニーズが増えているようです」

駅弁製造販売について齋藤社長は「第一に衛生、そして味」と言います。「駅弁は買ってから食べるまで、時間差があります。ですから、一般の食事よりも衛生には特に留意しています。安心して食べられるからこそ、おいしさもひきたつてはいないでしょうか」

地産地消、健康など時代のニーズに対応

最近では「地産地消」という言葉も一般化しましたが、齋藤社長は「駅弁は、まさに地産地消の商品ですね」と言います。

「何より、ご当地の味だからこそ、皆様に喜んでいただけます。また、駅弁はその日の販売状況によって、常に追加で作り、店頭から商品を切らさないようにしなければいけませんから、食材も地域のものが中心になっていくのです」

また「ヘルシー」も最近の食に求められる要素。松廼家でもヘルシーな駅弁をライ

40種類で、うち15種類が常時用意されているもの。他は限定販売や予約販売などです。

日本初、もちろん栃木県初の駅弁を作ったのは白木屋旅館でした。その後、松廼家と富貴堂の2社が参入。長い間3社が互いに協力しつつ競争して、宇都宮の駅弁を支えてきました。3社で共同して、車内販売の会社を設立していた時期もあったそうです。残念ながら現在では松廼家1社だけに

ンナップに加えています。当初想定していた女性層だけでなく、ビジネスマンにも人気が高いそうです。

齋藤社長によれば「むしろ、女性の方が『食べごたえのあるもの』とおっしゃる傾向がありますね。『とちぎ霧降高原牛めし』などは、中高年女性に人気です」と、意外(?)な購買傾向もあるそうです。

「駅弁も時代に合わせて、どんどん変化しています。私ども松廼家では、県内で唯一の駅弁マークの会社として、いつまでもお客様に愛される駅弁を」提供していきたいと思えます」



おいそうな駅弁がズラリと並び、宇都宮駅構内にあつる直営店

問合せ 有限会社 松廼家 634-2426 http://www.ekiben-matsunoya.co.jp